

# USEFUL PRINTING INFORMATION

印刷に関する用語、こぼれ話、業界のトレンドなどの情報を毎月ご紹介していきます。

SEZAX

M O N T H L Y

vol.135

U P

本の綴じと開きについて

# 右綴じ、左綴じ、右開き、左開き… 意外とわかりづらい!?! 本の綴じと開き方。

小説、カタログ、参考書…、私たちの周りにはたくさんの「本」があります。  
しかし、その本が右開きか、左開きか、あまり意識しないのではないのでしょうか。  
今回は、本の文字組みと開き方の違いについてご紹介します。

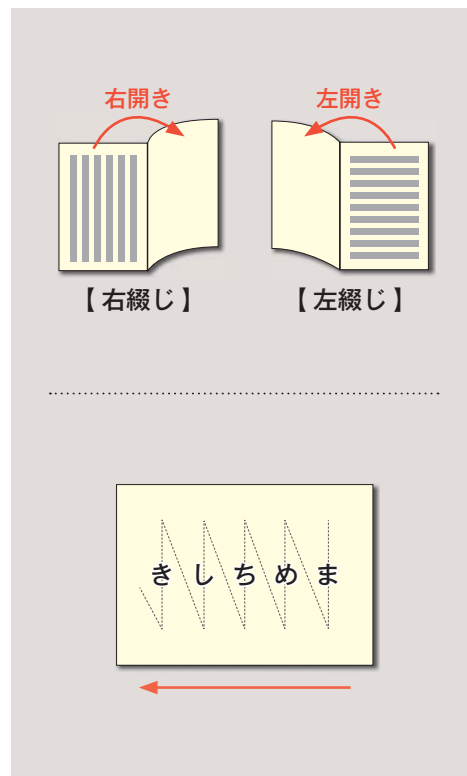


お近くに小説など、縦組み(上から下へ文章が書かれている)の本はありますか? こうした縦組みの本の表紙は、向かって右側が綴じられているため、右綴じと呼びます。そして読む時にはページを右側へと開いていくことから、右開きとも言います。縦組みの場合は、1行を上から下へ、各行を右から左へと読み進めていくため、右綴じ・右開きの体裁が理にかなっているのです。そして見開きの右側が若いページになります。

一方、横組み(左から右へ文章が書かれている)の本は、表紙に向かって左側が綴じられており、読む際はページを左へめくっていきます。左開きとも言い、こちらは見開きの左側が若いページになります。

ところで古い資料を見ると横組みの日本語が、右から左へと書かれています。今、私たちが見ると非常に読みづらいのですが、当時は当たり前書き方でした。なぜなら、これは横組みではなく、1行1文字ずつ改行している縦組み。そもそも日本に横組みはなく、このように表記していたのです。大正、昭和初期頃から欧米文化の流入により、左から右へと文字を書く横組みが増えていきます。そして終戦を境に、左から書く横組みへと統一されていきました。なお、横組み文章でもアラビア語などは右から左に書くため、右綴じ・右開きの本になっています。

普段あまり意識することがない右開きと左開き。縦組みは右開き、横組みは左開きと覚えておけば、カタログやパンフレット制作を行う時にも迷うことはなくなるでしょう。





No.I290-ISO/IEC 27001  
No.E2204-ISO14001 (本社・下丸子工場)  
No.4412-ISO9001 (本社・下丸子工場)



# SEZAX

## セザックス株式会社

<http://www.sezax.co.jp>

- |                                |                                     |  |
|--------------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 本社・工場 | 〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7               | TEL 03 (3758) 2511 (代)                           |
| <input type="checkbox"/> 渋谷コア  | 〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1渋谷オミビル6F<br>5F | TEL 03 (3400) 9211 (代)<br>TEL 03 (3400) 9401 (代) |
| <input type="checkbox"/> 下丸子工場 | 〒146-0092 大田区下丸子2-20-4              | TEL 03 (3758) 2516 (代)                           |

株式会社セザックスクリエイティブ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1渋谷オミビル2F TEL 03 (3409) 4970 (代)

株式会社セザックスドキュメントソリューションズ

〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7 TEL 03 (3758) 2533 (代)

この小冊子は森林認証紙を使用しています。